

上谷の丘

「自分も他者も大切に、聞いて考え行動し、挫けずやり抜く子どもを育てる学校」

今月は大人であれば1度や2度経験したことがあるようなお話だと思います。

あらすじは、児童館で映画が見られる日をととても楽しみにしていたゆうきさんとまさやさん、その当日の下校中に誰かの家の鍵を拾いました。ゆうきさんは先生に届けようと言うが、まさやさんは映画に遅れるという。二人は悩んだ末に……

「さようなら。またあしたね。」

ゆうきとまさやは、一番^{いちばん}に教室を出ました。

「早く^{はや}帰らなくちゃ。」

ワクワクしながら歩いていると、校門^{こうもん}を出て少ししたところで、すずのついたかぎをひろいました。でも、名前^{なまえ}がありません。

「おとしたのは同じ学校^{おな がっこう}の子かな。家^このかぎだとたいへんだね。」

と、まさやが言いました。

「学校^{がっこう}にもどって、先生^{せんせい}にわたそうよ。」

と、ゆうきが言うと、

「でも、今^{いま}から学校^{がっこう}にもどると、えいがにおくれちゃう。」

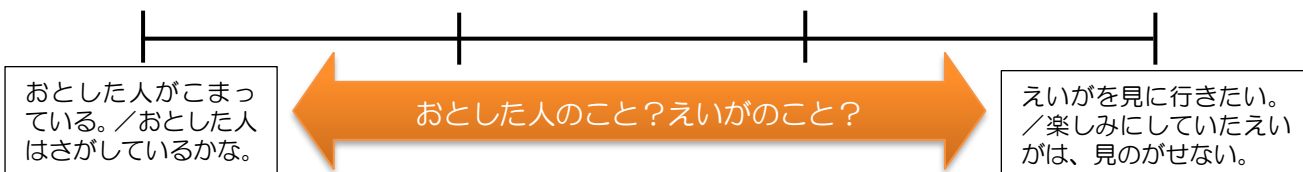
と、まさやはそわそわしています。すると、後ろ^{うし}から歩いてきた、となりのクラスの子^こが教えてくれました。

「このかぎ、学校^{がっこう}の中^{なか}で見たことあるよ。」

ゆうきは、手^てのひらのかぎを見つめました。

「Gakken みんなのどうとく」より

『ゆうきさんは、手のひらのかぎを見つめながら、どんなことを考えたでしょう。』



自分のことを優先して考えれば「えいがを見に行きたい」となるでしょう。だって、楽しみにしていたのですから。ただ人のことを思いやると「おとした人がこまっているかな」と考えるでしょう。人間ですから、どちらの考えもわいてくることだと思います。ゆうきさんは正に、その状況です。

そして、この後、ゆうきさんはどのような行動にうつしたでしょうか。ご家庭でお話してみてください。



【学校だより 6 月号の御礼】



先月の学校だより(クジャクさんのお話)についてご家庭でお話をしてくださり、ありがとうございました。アンケートの回答が来るかどうか心配しておりましたが、11件もの回答・ご意見があり、うれしくそしてたいへん有り難く思っております。

クジャクさんの言動の変容やクラスの仲間の言動から、親御さんが、「**みんなが思いやりをもってそれぞれ行動すれば、思いやりの溢れるクラスになりそうだね**」などと話していただいたり、「**私も自分のことばかりじゃなくて、クラスのみんなのことを気にすることができるようになりたいです**」「**皆のことを考えて役立つ行動をして、協力し合えるようにしていきたい**」「**助けてくれる優しい仲間っていいな**」「**友達に優しくしたい**」「**助け合える仲間づくりをしたい**」と子供たちが語っていたり、と自分のことだけではなく他の人を思いやることの大切さに気付いている様子がうかがえました。

【上谷フェスティバル】

今年も「上谷フェスティバル」を開催することができました。今回は1学期の開催でしたが、運動会が2度の延期に見舞われたこともあり、地域の方々と共に保護者の方々にも多く楽しんでいただけたように感じました。

素晴らしい二人の司会の言葉で始まりました。運動会と同じ演目でしたが、職員が舞台に合わせてフォーメーションを工夫し、また子供たちはそれに応えて運動会とは違った楽しそうな表情を見せてくれました。

地域の方々から数多くの優しいメッセージをいただき、子供たちも元気や思いやりの心をいただいたと思います。

「**上手にできました。先生たちもこれまでになるまで苦労しましたね。孫のことを思い出して目に涙が浮かんできました。1時間楽しくありがとうございます。**」

「**生徒たち、すごく元気でうれしいです。ベランダから見るランドセルの生徒たちは数人、その反面高齢者の方は足を悪くしている方が数多くおられる対照的な時代になったと思っています。でも、生徒たちもいろいろなところで大変でしょうけど、東坂戸の住民は元気をもらっていますよ。**」

「**本日は楽しい催しを見せていただき、ありがとうございました。夫を介護して苦労したので、久しぶりに笑顔になりました。感謝、かんげき、感動いたしました。**」



【生活目標】 学校をきれいにしよう